

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）																		
事業実施地区名 (都道府県名)	揖保川森林計画区 (いぼがわ) (兵庫県)																		
事業の概要・目的	<p>揖保川森林計画区は、14,681haの国有林野を対象として、水源かん養保安林が80%を占めるなど、水源地域として重要な役割を担っている。</p> <p>また、瀬戸内海沿岸部の都市近郊に所在する国有林は、都市住民の保健休養の場としても重要な役割を果たしており、更には北西部の国有林は大部分が氷ノ山後山那岐山国定公園、音水ちくさ県立自然公園及び雪彦峰山県立自然公園に含まれ、豊かな森林景観など豊富な観光資源に恵まれていることから、ハイキングや登山者も多く、保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積 97 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積 3,213 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長 1.1 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長 2.2 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積 97 (ha)		保育面積 3,213 (ha)	路網整備	開設延長 1.1 (km)		改良延長 2.2 (km)								
森林整備	更新面積 97 (ha)																		
	保育面積 3,213 (ha)																		
路網整備	開設延長 1.1 (km)																		
	改良延長 2.2 (km)																		
費用対効果分析	<table> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>1,189,474 (千円)</td> </tr> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>水源かん養便益 2,254,347 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山地保全便益 177,984 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境保全便益 2,770,375 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木材生産便益 82,117 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>森林整備経費縮減等便益 82,117 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計 6,084,871 (千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B / C)</td> <td>5.12</td> </tr> </table>			総費用 (C)	1,189,474 (千円)	総便益 (B)	水源かん養便益 2,254,347 (千円)		山地保全便益 177,984 (千円)		環境保全便益 2,770,375 (千円)		木材生産便益 82,117 (千円)		森林整備経費縮減等便益 82,117 (千円)		計 6,084,871 (千円)	分析結果 (B / C)	5.12
総費用 (C)	1,189,474 (千円)																		
総便益 (B)	水源かん養便益 2,254,347 (千円)																		
	山地保全便益 177,984 (千円)																		
	環境保全便益 2,770,375 (千円)																		
	木材生産便益 82,117 (千円)																		
	森林整備経費縮減等便益 82,117 (千円)																		
	計 6,084,871 (千円)																		
分析結果 (B / C)	5.12																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		